

令和4年度  
福崎町決算審査意見書

一般会計・特別会計  
基金運用状況

福崎町監査委員

福監第17175号  
令和5年8月29日

福崎町長 尾崎吉晴様

福崎町監査委員 鳥岡照義

福崎町監査委員 石川治

令和4年度福崎町一般会計・特別会計決算審査  
及び基金運用状況審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された令和4年度の決算及び基金運用状況について審査した結果、次のとおり意見を提出します。

# 令和4年度福崎町一般会計・特別会計決算及び基金運用状況審査意見

## 第1 審査の対象

令和4年度福崎町一般会計歳入歳出決算  
令和4年度福崎町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算  
令和4年度福崎町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算  
令和4年度福崎町介護保険事業特別会計歳入歳出決算  
令和4年度基金運用状況（用品調達基金・土地開発基金）

## 第2 審査の実施日

令和5年8月3日、4日、7日、8日、10日

## 第3 審査の着眼点

審査の対象になった一般会計・特別会計歳入歳出決算書、決算報告書及びその他関係書類並びに基金運用状況報告書の記載事項が法令に適合し、かつ計数は正確であるか、事務処理は正確であるか等について審査しました。

また、基金については、その設置目的に沿って確実かつ効率的に運用されているか、計数は正確であるか等について審査しました。

## 第4 審査の実施内容

提出された一般会計・特別会計歳入歳出決算書、決算報告書及びその他関係書類並びに基金運用状況報告書等の書類を主な資料とし、担当職員から状況等を聴取して審査を行いました。また、事業等の成果を確認するため、現地調査を行いました。

## 第5 審査の結果

福崎町監査基準に基づき審査した限りにおいて、審査の対象になった一般会計・特別会計歳入歳出決算書等の記載事項は、いずれも法令に適合しており、その計数は正確であると認めました。

なお、事務処理については、その一部について例月出納検査や定期監査等で指摘していますが、おおむね良好であると認めました。

また、基金はその設置目的に沿って確実かつ効率的に運用されており、計数は正確であると認めました。

## 第6 決算の概要

### 1 総括

#### (1) 決算の規模

直近5箇年の一般会計及び特別会計の決算規模は、次のとおりです。

年度別一般会計・特別会計決算状況表

(単位:円)

区分	会計別	予算現額	収入済額(A)	支出済額(B)	形式収支(A)-(B)
平成 30年度	一般会計	9,864,900,000	8,978,853,648	8,767,963,489	210,890,159
	特別会計	3,934,600,000	3,921,148,633	3,862,655,106	58,493,527
	合計	13,799,500,000	12,900,002,281	12,630,618,595	269,383,686
令和 元年度	一般会計	8,991,600,000	8,771,031,090	8,559,638,151	211,392,939
	特別会計	4,030,500,000	3,974,206,151	3,924,283,299	49,922,852
	合計	13,022,100,000	12,745,237,241	12,483,921,450	261,315,791
令和 2年度	一般会計	10,813,900,000	10,470,630,343	10,198,303,672	272,326,671
	特別会計	4,149,600,000	4,158,339,222	4,079,113,484	79,225,738
	合計	14,963,500,000	14,628,969,565	14,277,417,156	351,552,409
令和 3年度	一般会計	10,151,340,000	9,715,275,732	9,415,356,142	299,919,590
	特別会計	4,102,300,000	4,035,051,694	3,984,091,792	50,959,902
	合計	14,253,640,000	13,750,327,426	13,399,447,934	350,879,492
令和 4年度	一般会計	9,541,350,000	9,079,629,677	8,899,745,528	179,884,149
	特別会計	4,043,600,000	3,979,806,833	3,912,751,139	67,055,694
	合計	13,584,950,000	13,059,436,510	12,812,496,667	246,939,843

(2) 決算収支

令和4年度の一般会計及び特別会計決算収支の状況は、次のとおりです。

一般会計及び特別会計の収支決算の状況

(単位:円)

区 分	一般会計	特別会計	合計
歳入歳出予算現額	9,541,350,000	4,043,600,000	13,584,950,000
歳入総額 A	9,079,629,677	3,979,806,833	13,059,436,510
(予算執行率)	95.2%	98.4%	96.1%
歳出総額 B	8,899,745,528	3,912,751,139	12,812,496,667
(予算執行率)	93.3%	96.8%	94.3%
歳入歳出差引額(A-B) C	179,884,149	67,055,694	246,939,843
翌年度へ繰り越すべき財源 D	12,979,000	0	12,979,000
実質収支(C-D) E	166,905,149	67,055,694	233,960,843
前年度実質収支 F	252,061,590	50,959,902	303,021,492
単年度収支(E-F) G	△ 85,156,441	16,095,792	△ 69,060,649
財政調整基金積立金 H	1,400,000	0	1,400,000
繰上償還金 I	0	0	0
基金取崩し J	134,100,000	43,600,000	177,700,000
実質単年度収支 (G+H+I-J)	△ 217,856,441	△ 27,504,208	△ 245,360,649

一般会計・特別会計を合計した歳入総額 13,059,436,510 円から、歳出総額 12,812,496,667 円を差し引いた額は 246,939,843 円の黒字になっています。この差引額には翌年度へ繰り越すべき財源が含まれているため、これを差し引いた実質収支では 233,960,843 円の黒字となっています。また、当該年度のみ収支を示す単年度収支は 69,060,649 円の赤字となっています。単年度収支に財政調整基金積立金を加え、基金取崩し金を控除した実質単年度収支は 245,360,649 円の赤字となっています。

## 2 一般会計

### (1) 歳入の状況

#### ア 歳入の決算状況

歳入の決算状況は、次のとおりです。

#### 歳 入 総 額

(単位:円)

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	9,541,350,000	9,161,661,949	9,079,629,677	4,807,334	77,224,938
令和3年度	10,151,340,000	9,800,352,544	9,715,275,732	6,165,673	78,911,139
増減額	△ 609,990,000	△ 638,690,595	△ 635,646,055	△ 1,358,339	△ 1,686,201

令和4年度の歳入予算は、予算現額9,541,350,000円に対し、収入済額は9,079,629,677円で、前年度に比べ635,646,055円減少しています。

#### イ 不納欠損額の状況

不納欠損の状況は、次のとおりです。

#### 不納欠損状況

(単位:円)

区 分	令和4年度	令和3年度	前年度比較 増減額
町 税	4,807,334	6,165,673	△ 1,358,339
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
諸 収 入	0	0	0
計	4,807,334	6,165,673	△ 1,358,339

令和4年度の不納欠損額は4,807,334円で、前年度に比べ1,358,339円減少しています。

### ウ 収入未済額の状況

収入未済額の状況は、次のとおりです。

#### 収入未済状況

(単位:円)

区 分	令和4年度	令和3年度	前年度比較 増減額
町 税	59,694,914	61,596,633	△ 1,901,719
分担金及び負担金	138,900	15,000	123,900
使用料及び手数料	1,254,950	1,541,970	△ 287,020
諸 収 入	16,136,174	15,757,536	378,638
計	77,224,938	78,911,139	△ 1,686,201

令和4年度の収入未済額は77,224,938円で、前年度に比べ1,686,201円減少しています。

町税に係る収入未済額は59,694,914円で、前年度に比べ1,901,719円減少しています。なお、町税の収入未済額減少の主な要因は、新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例の適用により令和3年度分の納税を猶予していたものを収入したことによるものです。分担金及び負担金に係る収入未済額は138,900円で、前年度に比べ123,900円増加しています。使用料及び手数料に係る収入未済額は1,254,950円で、前年度に比べ287,020円減少しています。諸収入に係る収入未済額は16,136,174円で、前年度に比べ378,638円増加しています。

## エ 自主・依存財源別歳入決算額の状況

自主・依存財源別歳入決算額の状況は、次のとおりです。

区 分	令和4年度		令和3年度		前年度比較		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	前年度比	
自主財源	町 税	3,370,209,571	37.1	3,271,526,363	33.7	98,683,208	103.0
	分担金及び負担金	165,800,224	1.8	176,939,673	1.8	△ 11,139,449	93.7
	使用料及び手数料	78,383,690	0.9	74,920,094	0.8	3,463,596	104.6
	財産収入	8,092,486	0.1	12,624,154	0.1	△ 4,531,668	64.1
	寄 附 金	74,704,646	0.8	82,592,660	0.9	△ 7,888,014	90.4
	繰 入 金	235,168,000	2.6	58,561,000	0.6	176,607,000	401.6
	繰 越 金	299,919,590	3.3	272,326,671	2.8	27,592,919	110.1
	諸 収 入	305,436,304	3.4	367,652,701	3.8	△ 62,216,397	83.1
	計	4,537,714,511	50.0	4,317,143,316	44.5	220,571,195	105.1
	依存財源	地方譲与税	81,641,000	0.9	80,473,000	0.8	1,168,000
利子割交付金		1,396,000	0.0	2,179,000	0.0	△ 783,000	64.1
配当割交付金		20,675,000	0.2	22,069,000	0.2	△ 1,394,000	93.7
株式等譲渡所得割交付金		14,750,000	0.2	26,058,000	0.3	△ 11,308,000	56.6
法人事業税交付金		69,175,000	0.8	59,544,000	0.6	9,631,000	116.2
地方消費税交付金		511,581,000	5.6	492,748,000	5.1	18,833,000	103.8
ゴルフ場利用税交付金		14,229,238	0.2	15,280,410	0.2	△ 1,051,172	93.1
環境性能割交付金		14,302,000	0.2	11,395,421	0.1	2,906,579	125.5
地方特例交付金		37,458,000	0.4	81,349,000	0.8	△ 43,891,000	46.0
地方交付税		1,553,467,000	17.1	1,599,833,000	16.5	△ 46,366,000	97.1
交通安全対策特別交付金		2,731,000	0.0	3,330,000	0.0	△ 599,000	82.0
国庫支出金		1,146,782,275	12.6	1,577,882,598	16.3	△ 431,100,323	72.7
県 支 出 金		560,070,653	6.2	576,690,987	5.9	△ 16,620,334	97.1
町 債		513,657,000	5.6	849,300,000	8.7	△ 335,643,000	60.5
計	4,541,915,166	50.0	5,398,132,416	55.5	△ 856,217,250	84.1	
合 計	9,079,629,677	100.0	9,715,275,732	100.0	△ 635,646,055	93.5	

令和4年度の財源を前年度の決算額と比較すると、自主財源は220,571,195円(5.1%)増加して4,537,714,511円となっています。依存財源は、国の特別定額給付金給付事業の減等により国庫支出金が大幅に減少し、全体では856,217,250円(15.9%)減少して4,541,915,166円となっています。その結果、自主財源比率は50.0%となっています。



## オ 町債借入額及び現在高の状況

町債借入額及び現在高の状況は、次のとおりです。

### 町債借入額及び残高の推移

(単位:円、%)

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
当年度 町債収入	総額	1,163,935,000	1,048,088,000	702,241,000	849,300,000	513,667,000
	臨時財政 対策債 (割合)	402,035,000 34.5	335,788,000 32.0	316,244,000 45.0	390,000,000 45.9	115,857,000 22.6
	その他	761,900,000	712,300,000	385,997,000	459,300,000	397,810,000
当年度 末時点 未償還 元金	総額	11,576,562,436	11,736,219,681	11,512,506,238	11,349,457,445	10,776,985,356
	臨時財政 対策債 (割合)	4,518,024,636 39.0	4,534,094,943 38.6	4,505,421,520 39.1	4,525,230,866 39.9	4,254,825,408 39.5
	その他	7,058,537,800	7,202,124,738	7,007,084,718	6,824,226,579	6,522,159,948

令和4年度末における町債現在高は10,776,985,356円で、令和3年度末に比べ572,472,089円減少しています。

## (2) 歳出の状況

### ア 歳出の決算状況

歳出の決算状況は、次のとおりです。

### 歳 出 総 額

(単位:円、%)

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和 4年度	9,541,350,000	8,899,745,528	399,580,000	242,024,472	93.3
令和 3年度	10,151,340,000	9,415,356,142	539,350,000	196,633,858	92.7
増 減	△ 609,990,000	△ 515,610,614	△ 139,770,000	45,390,614	0.6

令和4年度の予算現額9,541,350,000円に対し、支出済額は8,899,745,528円で、執行率は93.3%です。支出済額は前年度に比べ515,610,614円減少しています。予算現額から支出済額を差し引き、翌年度への繰越額399,580,000円を差し引いた242,024,472円が不用額となっています。

## イ 一般会計歳出性質別内訳及び比較表

一般会計歳出性質別内訳及び比較表は、次のとおりです。

### 一般会計歳出性質別内訳及び比較表

(単位:千円)

性質別		令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	前年度増減比 (%)	構成比(%)	
					R4年度	R3年度
人	件 費	1,638,743	1,688,821	△ 3.0	18.4	17.9
物	件 費	1,391,303	1,412,398	△ 1.5	15.6	15.0
維	持 補 修 費	44,582	23,664	88.4	0.5	0.3
扶	助 費	1,260,429	1,615,634	△ 22.0	14.2	17.2
補	助 費 等	1,757,851	1,504,299	16.9	19.7	16.0
普通 建設 事業	補 助 事 業	485,302	282,325	71.9	5.5	3.0
	単 独 事 業	348,713	445,486	△ 21.7	3.9	4.7
	県 営 事 業	16,336	46,828	△ 65.1	0.2	0.5
	計	850,351	774,639	9.8	9.6	8.2
災 害 復 旧 事 業	補 助 事 業	0	3,188	皆減	0.0	0.0
	単 独 事 業	0	0	0.0	0.0	0.0
	計	0	3,188	皆減	0.0	0.0
公	債 費	1,116,199	1,048,668	6.4	12.5	11.1
積	立 金	77,118	554,721	△ 86.1	0.9	5.9
投	資 ・ 出 資 金	43,000	43,000	0.0	0.5	0.5
貸	付 金	46,070	59,440	△ 22.5	0.5	0.6
繰	出 金	674,100	686,884	△ 1.9	7.6	7.3
歳	出 合 計	8,899,746	9,415,356	△ 5.5	100.0	100.0

令和4年度一般会計の歳出総額8,899,746千円のうち義務的経費（人件費、扶助費、公債費）は4,015,371千円で全体の45.1%となっています。投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費）は850,351千円で全体の9.6%となっています。

### ウ 翌年度繰越額の状況

翌年度繰越額の状況は、次のとおりです。

翌年度繰越額の状況

(単位:円)

款	項	事業名	翌年度繰越額	財源のうち 一般財源分
総務費	総務管理費	集中管理車購入事業	2,580,000	480,000
		情報システム標準化改修事業	3,200,000	0
農林水産業費	農業費	農業生産コスト低減緊急対策事業	700,000	0
商工費	商工費	プレミアム付商品券事業	10,000,000	1,300,000
土木費	道路橋梁費	道路維持改修事業	34,000,000	500,000
		社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)	36,800,000	7,370,000
教育費	小学校費	学校教育活動継続支援事業	4,500,000	2,250,000
		小学校施設長寿命化改良事業(トイレ改修)	306,000,000	179,000
	中学校費	学校教育活動継続支援事業	1,800,000	900,000
合計			399,580,000	12,979,000

令和4年度の翌年度繰越額は399,580千円で、前年度(539,350千円)に比べ139,770千円減少しています。なお、翌年度繰越額の財源のうち一般財源は12,979千円です。

翌年度繰越額は、すべて繰越明許費となっています。

## エ 不用額の状況

不用額の状況は、次のとおりです。

### 不用額の状況

(単位:円)

	令和4年度	令和3年度	増減額
議会費	840,630	977,514	△ 136,884
総務費	20,280,898	23,921,227	△ 3,640,329
民生費	104,919,044	79,374,217	25,544,827
衛生費	20,615,880	17,322,332	3,293,548
農林水産業費	8,497,294	3,776,564	4,720,730
商工費	7,314,725	22,966,135	△ 15,651,410
土木費	19,373,263	17,761,032	1,612,231
消防費	14,107,121	10,321,263	3,785,858
教育費	43,744,848	17,909,968	25,834,880
公債費	330,769	281,406	49,363
予備費	2,000,000	2,000,000	0
災害復旧費	-	22,200	△ 22,200
合計	242,024,472	196,633,858	45,390,614

令和4年度の不用額は242,024,472円で、前年度に比べ45,390,614円増加しています。

### 3 国民健康保険事業特別会計

歳入歳出決算の前年度との比較は次のとおりです。

#### 歳入歳出決算状況

(単位:円)

区 分	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実 質 収 支
令和4年度	1,911,722,349	1,899,699,671	12,022,678	0	12,022,678
令和3年度	1,981,055,864	1,966,582,400	14,473,464	0	14,473,464
増 減 額	△ 69,333,515	△ 66,882,729	△ 2,450,786	0	△ 2,450,786

令和4年度の国民健康保険事業特別会計の決算額は、歳入総額1,911,722,349円、歳出総額1,899,699,671円で、歳入歳出差引額及び実質収支は12,022,678円の黒字となっています。

なお、国保財政調整基金については、15,100,000円を取り崩し、14,453,464円を積み立てた結果、決算年度末残高は71,794,894円となっています。

#### (1) 歳入の状況

歳入の決算状況は、次のとおりです。

#### 歳入の決算状況

(単位:円、%)

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較	執行率	
							対予算	対調定
令和4年度	1,939,600,000	1,979,326,141	1,911,722,349	5,810,782	61,793,010	△ 27,877,651	98.6	96.6
令和3年度	2,032,200,000	2,050,859,600	1,981,055,864	6,255,218	63,548,518	△ 51,144,136	97.5	96.6
増 減	△ 92,600,000	△ 71,533,459	△ 69,333,515	△ 444,436	△ 1,755,508	23,266,485	1.1	0

令和4年度の予算現額1,939,600,000円に対し、収入済額は1,911,722,349円で、執行率は98.6%です。収入済額は前年度に比べ69,333,515円減少しています。不納欠損額は5,810,782円で、前年度に比べ444,436円減少しています。収入未済額は61,793,010円で、前年度に比べ1,755,508円減少しています。

## (2) 歳出の状況

歳出の決算状況は、次のとおりです。

### 歳出の決算状況

(単位:円、%)

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和 4年度	1,939,600,000	1,899,699,671	0	39,900,329	97.9
令和 3年度	2,032,200,000	1,966,582,400	0	65,617,600	96.8
増 減	△ 92,600,000	△ 66,882,729	0	△ 25,717,271	1.1

令和4年度の予算現額1,939,600,000円に対し、支出済額は1,899,699,671円で、執行率は97.9%です。支出済額は前年度に比べ66,882,729円減少しています。不用額は39,900,329円で、前年度に比べ25,717,271円減少しています。

#### 4 後期高齢者医療事業特別会計

歳入歳出決算の前年度との比較は次のとおりです。

#### 歳入歳出決算状況

(単位:円)

区 分	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳 入 歳 出 差 引 額	翌年度へ繰り越すべき財源	実 質 収 支
令和4年度	305,681,460	299,082,305	6,599,155	0	6,599,155
令和3年度	301,088,455	294,303,597	6,784,858	0	6,784,858
増 減 額	4,593,005	4,778,708	△ 185,703	0	△ 185,703

令和4年度の後期高齢者医療事業特別会計の決算額は、歳入総額 305,681,460 円、歳出総額 299,082,305 円で、歳入歳出差引額及び実質収支は 6,599,155 円の黒字となっています。

#### (1) 歳入の状況

歳入の決算状況は、次のとおりです。

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較	執行率	
							対予算	対調定
令和4年度	306,600,000	307,314,264	305,681,460	0	1,632,804	△ 918,540	99.7	99.5
令和3年度	301,200,000	301,960,741	301,088,455	0	872,286	△ 111,545	100.0	99.7
増 減	5,400,000	5,353,523	4,593,005	0	760,518	△ 806,995	△ 0.3	△ 0.2

令和4年度の予算現額 306,600,000 円に対し、収入済額は 305,681,460 円で、執行率は 99.7%です。収入済額は前年度に比べ 4,593,005 円増加しています。不納欠損額は 0 円で、前年度から増減はありません。収入未済額は 1,632,804 円で、前年度に比べ 760,518 円増加しています。

## (2) 歳出の状況

歳出の決算状況は、次のとおりです。

### 歳出の決算状況

(単位:円、%)

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和 4年度	306,600,000	299,082,305	0	7,517,695	97.5
令和 3年度	301,200,000	294,303,597	0	6,896,403	97.7
増 減	5,400,000	4,778,708	0	621,292	△ 0.2

令和4年度の予算現額306,600,000円に対し、支出済額は299,082,305円で、執行率は97.5%です。支出済額は前年度に比べ4,778,708円増加しています。不用額は7,517,695円で、前年度に比べ621,292円増加しています。



## 5 介護保険事業特別会計

歳入歳出決算の前年度との比較は次のとおりです。

### 歳入歳出決算状況

(単位:円)

区 分	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳 入 歳 出 差 引 額	翌年度へ繰り越すべき財源	実 質 収 支
令和4年度	1,762,403,024	1,713,969,163	48,433,861	0	48,433,861
令和3年度	1,752,907,375	1,723,205,795	29,701,580	0	29,701,580
増 減 額	9,495,649	△ 9,236,632	18,732,281	0	18,732,281

令和4年度の介護保険事業特別会計の決算額は、歳入総額1,762,403,024円、歳出総額1,713,969,163円で、歳入歳出差引額及び実質収支は48,433,861円の黒字となっています。

なお、介護保険財政調整基金については、28,500,000円を取り崩し、34,861,580円を積み立てた結果、決算年度末残高は73,788,217円となっています。

#### (1) 歳入の状況

歳入の決算状況は、次のとおりです。

#### 歳入の決算状況

(単位:円、%)

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較	執行率	
							対予算	対調定
令和4年度	1,797,400,000	1,765,283,624	1,762,403,024	80,100	2,800,500	△ 34,996,976	98.1	99.8
令和3年度	1,768,900,000	1,755,533,635	1,752,907,375	51,100	2,575,160	△ 15,992,625	99.1	99.9
増 減	28,500,000	9,749,989	9,495,649	29,000	225,340	△ 19,004,351	△ 1.0	△ 0.1

令和4年度の予算現額1,797,400,000円に対し、収入済額は1,762,403,024円で、執行率は98.1%です。収入済額は前年度に比べ9,495,649円増加しています。不納欠損額は80,100円で、前年度に比べ29,000円増加しています。収入未済額は2,800,500円で、前年度に比べ225,340円増加しています。

## (2) 歳出の状況

歳出の決算状況は、次のとおりです。

### 歳出の決算状況

(単位:円、%)

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和 4年度	1,797,400,000	1,713,969,163	0	83,430,837	95.4
令和 3年度	1,768,900,000	1,723,205,795	0	45,694,205	97.4
増 減	28,500,000	△ 9,236,632	0	37,736,632	△ 2.0

令和4年度の予算現額1,797,400,000円に対し、支出済額は1,713,969,163円で、執行率は95.4%です。支出済額は前年度に比べ9,236,632円減少しています。不用額は83,430,837円で、前年度に比べ37,736,632円増加しています。

## 6 基金運用状況

地方自治法第 241 条に基づく、定額の資金を運用する基金の運用状況は、次のとおりです。

### (1) 用品調達基金

決算年度中の運用状況は次のとおりです。

#### 用品調達基金

(単位:円)

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	剰余金繰出前現在高	剰余金	決算年度末現在高
現金	1,581,147	79,717	1,660,864	65,969	1,594,895
用品	1,018,853	△ 13,748	1,005,105	0	1,005,105
未払金	0	0	0	0	0
計	2,600,000	65,969	2,665,969	65,969	2,600,000

剰余金 65,969 円は一般会計・雑入へ繰り出しています。

### (2) 土地開発基金

決算年度中の運用状況は次のとおりです。

#### 土地開発基金

(単位:円)

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
土地	244,404,762	△ 44,901,054	199,503,708
現金	305,595,238	44,901,054	350,496,292
未払金	0	0	0
計	550,000,000	0	550,000,000

基金の総額は、550,000,000 円で運用しています。

令和 4 年度は、平成 14 年度に取得した宅地 1795.05 m<sup>2</sup>の内 755.91 m<sup>2</sup> (44,901,054 円) を一般会計で買い戻しました。

## 7 まとめ

令和4年度の決算について審査した結果と意見は、次のとおりです。

令和4年度の一般会計と特別会計を合わせた決算規模は、歳入総額 13,059,436,510 円、歳出総額 12,812,496,667 円です。

一般会計については、歳入総額 9,079,629,677 円、歳出総額 8,899,745,528 円で、令和3年度に比べ、歳入で 6.5%減少、歳出で 5.5%減少しています。

歳入歳出ともに、子育て世帯等臨時特別給付金事業の減により、歳入においては国庫支出金、歳出においては民生費が大きく減少しています。

それ以外では、歳入については、町税が増加していますが、地方特例交付金、地方交付税、諸収入が減少しています。

歳出については、総務費や消防費は減少しているものの、教育費や衛生費は増加しています。

決算収支は、実質収支額は 166,905,149 円の黒字、実質単年度収支は 217,856,441 円の赤字となっています。

## 第7 審査の意見

### (1) 町税について

令和4年度の町税収入は、前年度との比較では 98,683,208 円（対前年度比 3.0%）増加しています。個人町民税は、平均所得の伸びや退職所得に係る納税額の増加により増収となりました。法人町民税は、原材料価格の高騰に伴う仕入価格の上昇等が企業利益減少に大きく影響したと思われ減収となりました。固定資産税は新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい経営環境にあった中小事業者等の事業用資産に対する軽減措置が終了したことが大きく影響し増収となりました。軽自動車税は、環境性能割の令和4年1月からの税率改正や種別割の経年車重課制度の影響で増収となりました。町たばこ税は、令和3年10月から増税により増収となりました。

歳入は、歳出の財源となります。従って財源の確保は、町の施策を推進する上で大変重要となります。その中でも、町税収入は歳入総額の 37.1%を占めており、町の歳入の根幹をなす重要な収入です。町では、数年にわたり兵庫県個人住民税整理回収チームの派遣を受けて滞納防止や徴収への取り組みが強化された結果、滞納整理対策委員会における関係課間の連携も定着し、全体的な対応力も向上しています。また、積極的な滞納処分を行う一方で滞納者の実情に即した対応を行い、直近10年間において滞納繰越金額は徐々に減少しています。それぞれの滞納案件について細かな分析がなされ、緻密に対応されてきた結果だと感じています。今後とも、より一層の取り組みを期待します。

## (2) 委託契約について

委託事務契約等に関し、業務内容が明確に示されているか、委託料の算出根拠が明確か、検査調書が作成されているかなどについて各課でチェックした内容を取り纏めてもらい、状況把握とその後適正に手続きがなされているか定期監査及び決算審査において確認しました。その結果、概ね良好でしたが一部不十分なものも散見されたので、改善取組みを指示しました。取り組み状況は定期監査等で進捗を確認し、全体的なレベルの向上を期待します。

## (3) 町財政に関する課題について

財政調整基金について、令和4年度は当初予算380百万円繰入に対し、事業取組みの全体の状況により決算額134百万円繰入となりました。財政調整基金等の減少、ゴミ処理に関する費用の増高、中播消防署建替えに係る費用負担の増、町施設の老朽化、町債償還額の高止まりなど、町財政に大きな負荷のかかる課題が多くあります。これらの状況を踏まえての町財政の推移を想定し、長期にわたり持続可能な財政運営ができるような対応をするか、できるかぎり早期にまとめ実行していく必要があるのではないかと考えます。また、各事業の実施にあたっては効率化等に努めてください。

## (4) 観光振興について

観光振興等については、駅前・辻川観光交流センターを中心に妖怪ベンチの増設や観光統合アプリの稼働、妖怪ガジpodの導入などメディアにも取上げられ、その結果、観光客入込数は604千人と過去最高となり町の知名度も上がりつつあります。現状に満足せず、今後もさらなる振興につながる取組みを期待します。

## (5) 財政援助団体等について

補助金等の財政的援助を与えている団体については、おおむね適正かつその目的に沿って執行されていると認めました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症等の影響により計画通りに事業が実施できず、補助金の額よりも繰越金のほうが大きくなっている事業もあり、今後は補助金額の変更や戻入などの方法も含めて検討をお願いしています。財政援助団体等については町として、支出後の事業管理や支出先の状況把握に努められているところですが、今後とも、それぞれの財政的援助等の目的が達せられるよう丁寧な確認を要望します。

## (6) 決算報告書及び関係書類について

町が作成している決算報告書及び関係書類については、決算年度中に実施された事業の内容や成果、課題等が網羅的に記載されており、各年度の町政運営を理解するための一助として非常に有効なものであると認識しています。読み手にとってわかりやすい表記、参

考図表の添付等もなされており、令和3年度に比べてさらなる改善が見られました。しかしながら、当初提出された決算報告書においては、数字の記載ミス、誤字脱字等の軽微な誤りが散見されました。全ての誤りをなくすことは困難であるとは思いますが、今後とも、読み手にとってよりわかりやすいものとなるよう改善を続けてください。